

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 92 2015年8月

発行：日本信頼性学会
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4階
一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 第28回秋季信頼性シンポジウム 発表募集

- (日 時) 2015年12月15日(火) 10:00~19:00 《時間は予定です》
(会 場) 日本科学技術連盟 本部 (新宿区西新宿 2-4-1 小田急第一生命ビル 4階)
(主 催) 日本信頼性学会 *新しい会場ですのお間違えございませんよう。
(後 援) 一般財団法人日本科学技術連盟
(協 賛) 特定非営利活動法人安全工学会, 公益社団法人応用物理学会, 研究・技術計画学会,
一般社団法人電気学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 公益社団法人日本オペレーショ
ンズ・リサーチ学会, 一般社団法人日本開発工学会, 一般社団法人日本機械学会, 公益社
団法人日本経営工学会, 一般社団法人日本シミュレーション学会, 一般社団法人日本人間
工学会, 一般社団法人日本品質管理学会, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会,
IEEE Reliability Society Japan Chapter 《後援・協賛は予定です》

<発表のおすすめ>

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思っておりますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思っております。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

<推薦論文のお知らせ>

各セッションの発表の中から優秀なもの1ないし2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)として学会誌への投稿を推薦いたします。推薦論文は、通常よりも短い期間で審査を行います(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります)。なお、今回のシンポジウムの推薦論文については、掲載可と判定された場合、掲載に必要な費用が免除されます。

<予定セッション構成>

1. 【組織, 管理, 規格, プロジェクト管理面】生産システム, 組織改革, 管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例, 管理手法適用事例, 人間信頼性, 社会との関わり, または新手法。
2. 【試験, 故障解析, 部品, 要素技術の信頼性, ハードウェア面】部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析, 物性(接続, 接着, 腐食, 摩耗, 疲労, マイグレーションなど), 全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. 【システムの信頼性, 保全性, ライフサイクルおよびソフトウェア面】システムまたはソフトウェアの信頼性, 保全性, ライフサイクルコスト, リサイクル, リユース, 保全支援活動の設計, 解析, 保証事例・改善事例など。
4. 【安全性, リスク】産業安全, 製品安全, リスク解析など。

5. 【データ収集, 解析】情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など
高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など.
6. 【理論, 一般】基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など.

＜参加費と発表者の特典＞

[シンポジウム参加費] 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000 円, 非会員 4,000 円, 学生 1,500 円
[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者 (1 名) は情報交換会にご招待いたします.

＜発表申込方法＞

申込方法 学会ホームページ (<http://www.reaj.jp>) の「発表申込書」に発表概要を記載の上, 電子メールにてお申し込み下さい.

申込期限 2015 年 9 月 7 日 (月) まで

審査結果 2015 年 9 月 14 日 (月) 頃までにご連絡いたします.

発表原稿締切 2015 年 11 月 2 日 (月) ワープロで A4 判 4 枚

申込先 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は, 信頼性シンポジウム, 学会誌『信頼性』, 解説書 (『ライフサイクルコストリング—研究会は, 信頼性シンポジウム導入と適用事例—) の発行を通じて, Lcc (Life cycle costing) に関する様々な研究成果を発表するとともに, Lcc の啓発活動もおこなっています.

年に 4 回ほど, 原則として金曜日の夜に東高円寺の日科技連ビルに集まり, 2 時間にわたる研究会を開催しております. 前半の 1 時間は情報交換と称し, 各メンバーが前回研究会から研究会当日までの間に収集した Lcc に関する情報提供などを行います. 後半の 1 時間は毎回担当者を決めて各自の最新の研究成果を報告し, 質疑応答および討論を行います. なお, 研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き, Lcc に関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります. 当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です.

私たちと一緒に Lcc の研究を進めてくださる仲間を募集しています. Lcc に少しでも関心がある方は, ぜひ研究会の会場にお越しください. お待ちしています.

(日 時) 2015 年 10 月 2 日 (金) 18:00~20:00

(場 所) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル会議室 (杉並区高円寺南 1-2-1)

(東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅から青梅街道を新宿方向へ徒歩約 5 分, 「和田三丁目」交差点手前)

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com

同 副主査 夏目 武 natsume@kiu.biglobe.ne.jp

詳細は, http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45 をご参照ください.

日本信頼性学会 故障物性研究会 10 月例会 (第 122 回)

(日 時) 2015 年 10 月 23 日 (金) 13:00~17:00

(場 所) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル地下2階研修室 (東京都杉並区高円寺南1-2-1)

http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf

*議題等, 詳細は9月号学会誌にてご案内いたします.

OR 学会 2015 年秋季シンポジウム

- (日 時) 2015 年 9 月 9 (水)
(場 所) 九州工業大学 (戸畑キャンパス)
(主 催) オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他 FMES 会員学会
(テーマ) 経済・経営分析と OR
詳細は、http://www.orsj.or.jp/~nc2015f/?page_id=16 をご参照ください。

OR 学会 2015 年秋季研究発表会

- (日 時) 2015 年 9 月 10 日 (木) ~11 日 (金)
(場 所) 九州工業大学 (戸畑キャンパス)
(主 催) オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他 FMES 会員学会
(OR 学会 統一テーマ) オリンピック・パラリンピックと OR
(発表会特別テーマ) 都市と地域の共生を目指した OR の挑戦的課題
詳細は、<http://www.orsj.or.jp/~nc2015f/> をご参照ください。

(上記 2 件の問合せ先) 公益財団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒1012-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
TEL 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 E-mai : jimukyoku@orsj.or.jp

第 7 回知識構造化シンポジウム

—製品・部門・拠点の壁を超える SSM 実践と知識運用の工夫—

不具合情報から知識を一般化・体系化し、未然防止に活用する SSM の取り組みは、多くの業種・企業に広がり、過去の知識構造化シンポジウムでも様々な実践例が紹介されてきました。SSM 導入企業の多くは、特定製品での活動に留まらず、様々な製品・部門・拠点に SSM を展開しています。その際、製品ライン間の壁、設計・製造・品質保証などの各部門間の壁、国内外の開発拠点間の壁を乗り越えて、再利用可能な知識を共有・活用するために様々な工夫を行っています。

今回のシンポジウムでは、3 社の実践例を通じて、このような壁を越えて再発防止・未然防止のための知識運用に取り組む具体的な内容をご紹介します。また活動を推進する工夫や、知識を共有・活用する上での工夫などをご紹介します。SSM 導入中・導入検討中の皆様に役立つヒントをご提供します。

*SSM(Stress-Strength Model : ストレス-ストレングスモデル) とは、トラブルの経験・ノウハウを広くトラブル未然防止に活用できるように、知識を構造的に表現するモデルです。

- (日 時) 2015 年 9 月 11 日 (金) 13:30~17:00
(場 所) 東京大学・伊藤謝恩ホール (文京区本郷 7-3-1)
(主 催) 日本科学技術連盟
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(参加費) 4,860 円 (税込)

(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 教育推進部 第一課 SSM-S 担当
〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1
TEL03-5378-1213 FAX03-5378-9842 E-mail : tqmsemi@juse.or.jp
詳細は、<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms> をご参照ください。

第 25 回設計工学・システム部門講演会

(日 時) 2015 年 9 月 23 日 (水) ~25 日 (金)
(場 所) 信州大学長野 (工学) キャンパス (長野市若里 4-17-1)
(主 催) 日本機械学会 設計工学・システム部門
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(問合先) 一般社団法人日本機械学会 設計工学・システム部門 (担当: 滝本氏)
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 信濃町煉瓦館 5 階
TEL03-5360-3505 FAX03-5360-3509 E-mail : takimoto@jsme.or.jp
詳細は、<http://www.jsme.jp/event/detail.php?id=3581> をご参照ください。

第 17 回破壊力学シンポジウム

(日 時) 2015 年 10 月 13 日 (火) ~14 日 (水)
(場 所) 京都テルサ (京都市南区東九条下殿田町 70 <http://www.kyoto-rerrsa.or.jp/>)
(主 催) 日本材料学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(参加費) 会員 (協賛学会員含む) 8,000 円, 非会員 10,000 円
学生会員 (協賛学協会員含む) 3,000 円, 学生非会員 5,000 円
(懇親会) 10 月 13 日 (火) 参加費: 一般 6,000 円, 学生 3,000 円
(問合先) 日本材料学会 破壊力学シンポジウム係
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101
TEL:075-761-5321 FAX:075-761-5325
詳細は、http://www.jsms.jp/index_4.html をご参照ください。

第 8 回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム

(日 時) 2015 年 10 月 14 (水) ~16 日 (金)
(主 催) 日本学術会議 (機械工学委員会)
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 日本学術会議 (港区六本木 7-22-34)
(参加費) 無料, アブストラクト論文集, CD 論文集は実費頒布の予定
(問合先) 一般社団法人日本機械学会 総合企画グループ
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 (信濃町煉瓦館 5 階)
TEL 03-5360-3505 FAX03-5360-3509
詳細は、<http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=3492> をご参照ください。

International Conference on Project Management, 2015 (ProMAC2015) 平成 27 年度秋季研究発表大会

PM 学会は、来る 2015 年 10 月 14 日～17 日に、札幌コンベンションセンター SORA にて、平成 27 年度秋季研究発表大会と ProMAC 2015 を同時開催するはこびとなりました。

ProMAC での発表は英語による発表と質疑応答が、研究発表大会での発表は日本語による発表と質疑応答が、それぞれなされます。聴講は発表申込の別に関係なく、ProMAC の発表と研究発表大会の発表を自由に行き来できます。

キーノートおよびチュートリアルでは、逐次通訳を提供する予定です。ProMAC の特徴である外国人著名講師によるキーノート、チュートリアルを日本語訳で聴講頂けます。

(日 時) 2015 年 10 月 14 (水) ～17 日 (土)

(主 催) プロジェクトマネジメント学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他 FMES 会員学会

(会 場) 札幌コンベンションセンター

(問合先) PM 学会行事委員会 お問い合わせ event@spm-hq.jp

詳細は、<http://www.spm-hq.jp/promac/2015/> をご参照ください。

第 11 回宇宙用半導体素子放射線影響国際ワークショップ (RASEDA-11)

(日 時) 2015 年 11 月 11 (水) ～13 日 (金)

(主 催) 日本原子力研究開発機構、宇宙航空研究開発機構、群馬大学

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会議目的) 宇宙用半導体素子の放射線影響に関して、我が国の研究・開発の成果を世界に発信するとともに、諸外国の研究者との意見交換を行うことで、国内における当該分野の研究開発の推進と技術水準の向上を図ります。

(会 場) 桐生市市民文化会館 (群馬県桐生市織姫町 2-5 <http://www.kiryu-piif.jp/index.html>)

(参加費) 事前申込 (10 月 30 日まで) : (一般) 10,000 円, (学生) 3,000 円

それ以降 (当日も) : (一般) 15,000 円, (学生) 3,000 円

(問合先) 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 (佐藤氏)

TEL 027-346-9378 E-mail : llraseda@jaea.go.jp

詳細は、<http://www.ae.stec.es.osaka-u.ac.jp/RASEDA11/> をご参照ください。

第 35 回ナノテストニングシンポジウム (NANOTS2015)

(日 時) 2015 年 11 月 11 (水) ～13 日 (金)

(主 催) ナノテストニング学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 千里ライフサイエンスセンター (大阪府豊中市新千里東町 1-4-2)

(内 容) LSI 等のナノスケール構造を持った材料・デバイスのテストニング (テスト, デバック・診断, 物理解析) 技術を主たるテーマとするシンポジウムです。(アブストラクトの査読有)

(参加費) (一般) 10,000 円, (学生) 2,000 円

(問合先) ナノテスティング学会 事務局 三浦氏, 御堂氏
 〒565-0871 吹田市山田丘 2-1 大阪大学大学院情報科学研究科
 情報システム工学専攻 中前研究室内
 TEL 06-6879-7813 FAX06-6879-7812 E-mail : NANOTS@ist.osaka-u.ac.jp
 詳細は, <http://www.-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/> をご参照ください.

公立大学法人秋田県立大学 教員募集

(募集人員) 教授または准教授 1 名, および助教 1 名
 (所 属) システム科学技術学部 経営システム工学科 経営管理グループ
 (専門分野) (担当授業科目) (応募資格) (募集資格) 等は下記 URL よりご参照ください.
 (詳 細) 教授または准教授 → http://www.akita-pu.ac.jp/file_upload/saiyou_joho/20150513183031.pdf
 助教 → http://www.akita-pu.ac.jp/file_upload/saiyou_joho/20150513183001.pdf
 (採用日 (予定)) 平成 28 年 4 月 1 日
 (提出書類) 上記 URL よりご確認ください.
 (応募締切) 平成 27 年 9 月 30 日 (水) 必着
 (書類送付先および連絡先)

(1)提出先〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4
 秋田県立大学システム科学技術学部 本荘キャンパス 教員選考委員長 松本 真一氏
 ※封筒の表に「経営システム工学科教員応募書類在中」と朱書きし, 簡易書留で送付して
 ください. 応募書類は返却致しません.

(2)問い合わせ先〒015-0055 秋田県由利本荘市土谷字海老ノ口 84-4
 秋田県立大学システム科学技術学部 経営システム工学科長 朴 元熙 氏
 TEL : 0184-27-2173 (ダイヤルイン) E-mail : w-park@akita-pu.ac.jp

(その他) 秋田県立大学は, 男女共同参画社会基本法の趣旨に則り, 男女共同参画を推進しています.
 有為の女性の積極的な応募を期待します.

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
2015 年度統計関連学会連合大会	岡山大学津島キャンパス 岡山市	2015/9/6-9	2015/6/5	http://www.jfssa.jp/taikai/2015/
OR 学会 2015 年秋季シンポジウム	九州工業大学 北九州市	2015/9/9		http://www.orsj.or.jp/~nc2015f/?page_id=16
OR 学会 2015 年秋季研究発表会	九州工業大学 北九州市	2015/9/10-11		http://www.orsj.or.jp/~nc2015f/
第 7 回知識構造化シンポジウム	東京大学・伊藤謝恩ホール/文京区	2015/9/11		http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms
Applied Methods of Statistical Analysis. Nonparametric Approach	Novosibirsk State Technical University & Belovodie Hotel, Russia	2015/9/14-19	2015/4/1	http://www.amsa.conf.nstu.ru/amsa2015/
第 25 回設計工学・システム部門講演会	信州大学長野キャンパス 長野市	2015/9/23-25		http://www.jsme.jp/event/detail.php?id=3581
公立大学法人秋田県立大学 教員募集	秋田県立大学 秋田県由利本荘市		2015/9/30	http://www.akita-pu.ac.jp/file_upload/saiyou_joho/20150513183031.pdf (教授・准教授)

				http://www.akita-pu.ac.jp/file_upload/saiyou_joho/20150513183001.pdf (助教)
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 東高円寺	2015/10/2		http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45
第 17 回破壊力学シンポジウム	京都テルサ 京都市	2015/10/13-14		http://www.jsms.jp/index_4.html
第 8 回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム	日本学術会議 港区六本木	2015/10/14-16		http://www.jsme.or.jp/event/detail.php?id=3492
International Conference on Project Management, 2015 (ProMAC2015) & 平成 27 年度秋季研究発表大会	札幌コンベンションセンター 札幌市	2015.10/14-17		http://www.spm-hq.jp/promac/2015/
第 32 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム	朱鷺メッセ 新潟市	2015/10/28-30	2015/6/8	http://www.sensorsymposium.org/
第 11 回宇宙用半導体素子放射線影響国際ワークショップ (RASEDA-11)	桐生市市民文化会館 群馬県桐生市	2015/11/11-13		http://www.ae.stec.es.osaka-u.ac.jp/RASEDA11/
第 35 回ナノテストニングシンポジウム (NANOTS2015)	千里ライフサイエンスセンター 大阪府豊中市	2015/11/11-13		http://www.-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/
日本計算機統計学会第 29 回シンポジウム	まなぼつと幣舞 釧路市	2015/11/27-28		http://jscs.jp/
<u>第 28 回秋季信頼性シンポジウム</u>	日科技連本部 新宿区西新宿	2015/12/15	2015/9/7	http://www.reaj.jp/